

# 新装版 観経のこころ

— 歎異抄の背景にある

おおぎ がんえい  
**正親含英著** ▼四六判・並製カバー！九二頁・本体 **一、五〇〇〇円十税**

2018年12月刊行



浄土真宗の聖教である『歎異抄』の背景に流れる『観無量寿経』のこころを易しく伝える名講話が新装版にて復刊！

## 【目次】

### 第一講

安心(じん)と安心(しん)(二)  
 歎異抄というお聖教(五)  
 一室の行者のため(七)  
 「破る」ということ(二〇)  
 悲しみの心は一念仏にかえる(二四)  
 念仏に、驚きがたつ(二七)  
 本願・宿業・念仏(二〇)  
 歎異抄と観経のこころ(二二)

### 第二講

人の、一生をあらわす言葉(二五)  
 念仏に遭う(二八)  
 そくばくの業(三一)  
 浄業の機(三三)  
 愚痴をきく釈迦如来(三六)  
 地獄(三八)  
 眉間の光をみる(四二)  
 往生浄土の道(四六)  
 お浄土の方角(四九)  
 人生の帰依所とこの世(五二)  
**第三講**  
 後生すきにはなれ・法義すきにはなるべからず(五七)  
 人間の求める浄土・阿弥陀の浄土(五九)

眉間の光と言葉の光(六一)

案ずるものが案ぜられる身(六四)  
 此を去ること遠からず(六八)  
 分齊不遠(七一)  
 観見不遠(七五)  
 往生不遠(七七)  
 広く衆譬を説いて(八〇)  
 二河の譬喩(八一)

### 第四講

三福の行(八五)  
 散善を説かなければ念仏は願われない(八七)  
 歎異抄に流れる観経の心(九〇)  
 定善は本願を示す縁(九五)  
 未来世の衆生とは(九八)  
 日想観—浄土の光は大悲の光(一〇〇)  
 念仏の心(一〇四)  
 仏を拝もうとおもう者は華座を觀ぜよ(一〇七)  
 招喚と発遣(一一〇)  
 仏は、(い)に(一一二)

### 第五講

心の散るままで(一一八)  
 本願の三信と観経の三心(一二二)

至誠心とは(一二三)

仏しろしめして(一二七)  
 深い信心・強い信心(一三〇)  
 機法二種の深信(一三二)  
 散善行じ難し(一三七)  
 これだけのことはしておる、と(一三九)  
 一人のうえに九品を読む(一四三)  
 臨終来迎を誓われた仏の心(一四六)  
 善きことのおこるもの・悪しきことのおもはるるも(一五一)

### 第六講

上・中品の善人と下品の悪人(二五四)  
 五逆・十悪の罪(二五八)  
 臨終の善智識の声(二六〇)  
 観経の問題と歎異抄第十三章(二六五)  
 この世に生きる悲しみ(二七〇)  
 三口でもいいから念仏申せ(二七三)  
 南無阿弥陀仏の中にある(二七八)  
 あとがき(二八一)

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
<b>法藏館</b> 本体 一、五〇〇〇円十税 正親含英著 新装版 <b>観経のこころ</b> — 歎異抄の背景にある —	
ISBN: 978-4-8318-6561-8 C3015	
お名前	お住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

真宗・仏教